

これからの時代に必要な資質・能力を育むために、指導者の不断の授業改善への姿勢が求められています。子どもたちそれぞれの興味や関心を基に、一人一人の個性に応じた多様で質の高い学びを引き出すことが大切です。

新学習指導要領では、資質・能力の育成に必要な授業改善の「**三つの学びの視点**」を示しました。



各学校で考えてみましょう

▶ 子どもが「知識と知識を意味あるものとして結び付け（知識の構造化）、その過程や結果を表現することができていたか」という視点で日々の授業を検証してみましょう。「何を教え」「何を考えさせるのか」という視点での単元構成も重要になります。